

2023年度分

学校関係者評価報告書

評価対象期間 自：2023年4月 1日

至：2024年3月31日

都築教育学園

鹿児島第一医療リハビリ専門学校

目 次

1. 目 的	2
2. 評価項目	2
3. 評価組織	2
4. 実施の概要	2～3
5. 細部実施事項	3～4
6. 評価結果	4～5
7. 総 括	6

別 紙「学校関係者評価アンケート結果」

1 目的

次の目的をもって学校関係者評価を実施した。

- (1) 学校運営について評価して頂き、今後の改善を図る上での意見を頂く。
- (2) 学校としての説明責任を果たし、学校運営に関する理解と協力を得て、より良い学校づくりを進める。
- (3) いただいた評価を下に改善措置を講じることにより、教育の質の向上を図る。

2 評価項目

次の項目について、関係法令等に基づき法規・適正に効率的に行われ、所望の効果をj得ているかを評価していただいた。

- (1) 学校運営
- (2) 教育活動
- (3) 教育成果
- (4) 学生支援
- (5) 学習環境
- (6) 募集広報
- (7) 学校評価
- (8) 情報公開

3 評価組織

- (1) 評価委員（個人名は略）

ア 委員長：学校後援会会長（はり・きゅう学科 保護者）

イ 委員：理学療法学科 保護者
作業療法学科 保護者
言語聴覚学科 保護者
柔道整復学科 保護者
はり・きゅう学科 保護者

- (2) 学校教職員

ア 校長、教学部長、各学科長及び各学科教員

イ 事務局：事務長以下、事務職

4 実施の概要

- (1) 実施時期・場所

2024年4月27日（土） 鹿児島第一医療リハビリ専門学校

- (2) 実施事項

ア 全般説明

イ 自己評価報告書

ウ 各学科の公開授業

- エ 教育施設・設備及び教育研究機器類の確認
- オ 評価アンケートの記入
- カ 各評価委員による意見交換
- キ 食事・懇談

5 細部実施事項

(1) 全般説明

次の事項について、学校の現況、取組などについて説明を行った。

1. 学校運営
 - ①運営方針・事業計画
 - ②学校組織図
 - ③業務運営の改善
2. 学生支援
 - ①学生相談への対応
 - ②学生への経済的支援
 - ③学生の健康管理
3. 学習環境
 - ①施設・設備の整備
 - ②学外を含めた実習環境
 - ③安全管理に関する措置
4. 募集広報
 - ①学生募集・広報
 - ②入学選考
5. 学校評価
 - ①自己点検・自己評価の実施
6. 情報公開
 - ①情報公開の方法
7. 教育活動
 - ①各学科の在籍報告
 - ②各学科の教育目標
 - ③カリキュラムの体系
 - ④進級ならびに卒業基準
 - ⑤個々の学生に応じた教育・指導
 - ⑥各学科の学生支援
8. 教育成果
 - ①求人件数・就職率の推移
 - ②国家試験合格率
 - ③退学・在籍者数の推移

④卒業生のフォロー

(2) 各学科の公開授業

次のとおり、各学科長等の随行・説明の下に各学科の授業を評価委員に公開し、カリキュラムに基づく教育の実施状況、特に、教育内容、教育要領（教育型式・方法等）、教員の資質・能力等について評価していただいた。

- ア 理学療法学科：動作分析学・学びの技法Ⅱ（２年）
- イ 作業療法学科：中枢神経作業療法学（２年）
- ウ 言語聴覚学科：言語発達学演習Ⅰ（２年）
- エ 柔道整復学科：柔道整復臨床実技（３年）
- オ はり・きゅう学科：関係法規（３年）

(3) 教育施設・設備及び教育研究用機器の確認（実視）

次のとおり、学科長の随行・説明の下に各学科の主要な教育施設・設備及び主要な教育研究用機器類を評価していただいた。

- ア 理学療法学科：機能訓練室、基礎医学実習室、水治室、装具加工室 731教室
- イ 作業療法学科：日常動作訓練室、手工芸室、732教室
- ウ 言語聴覚学科：聴力検査室、観察室・訓練室、753教室
- エ 柔道整復学科：柔整実技実習室、付属整骨院、付属柔道場
- オ はり・きゅう学科：はり・きゅう実技実習室、付属鍼灸院、742教室

(4) 評価アンケートの記入

学校運営に係わる各評価項目（８区分・２４項目）に対し三択方式（「なされている。」、「改善すべきところがある」又は「わからない」の三択）によるアンケートを実施するとともに、改善意見・要望等の自由意見を記入していただいた。

(5) 各評価委員による意見交換

評価結果及び学校関係者評価の実施に関する所見について、各評価委員から所見を開陳していただいた。

(6) 懇談

学科ごとの懇談形式により、当該学科担当の評価委員と学科長及び教員との間で、学校運営や学生教育について情報交換・意見交換を行った。

6 評価結果

(1) 学校運営

「運営方針・事業計画等は策定されているか」「運営組織等は組織され機能しているか」及び「学生本位の業務運営はなされているか」の全項目に対し、「なされている」との評価をいただいた。

(2) 教育活動

「各学科の課程編成（クラスの定員）はまもられているか」「学科ごと到達可能な教育目標は確立されているか」「科目に応じた教員を確保しているか、またその能力・資質は適切か」の項目において「わからない」の意見をいただいた。

「授業評価、公開授業等による教育の質の向上に努めているか」の項目について「改善すべきところがある」として、「座学のあとの実技は有効と思いますが、各グループをしっかりと見ていただいた方が正しい実技の習得に繋がると思います」と意見をいただいた。

「卒業・進級基準は明確になっているか」の項目について「改善すべきところがある」として、「進級できずに退学となるケースが減らせるよう更なる工夫が必要かと思われまます」と意見をいただいた。

(3) 教育成果

「留年・退学者の抑制のための努力はなされているか」の項目について「改善すべきところがある」として、「メンタルケアが必要な学生に早めに取り組む必要があると思います」と意見をいただいた。

「卒業後のフォローはなされているか」の項目について「わからない」という評価をいただいた。

(4) 学生支援

「学生の経済的側面に対するフォローはなされているか」の項目について「改善すべきところがある」として、「社会人からの入学者に減免制度等あれば入学者増加につながるのではと思います」という意見をいただいた。

「学生の健康管理について措置はなされているか」において「わからない」という意見をいただいた。

(5) 学習環境

「施設・設備は教育に対応できるよう整備されているか」において「改善すべきところがある」として、「トイレの段差解消」「臨床実習で使用するタオルを洗う洗濯機の動作不良と洗濯物の干場の確保」という意見をいただいた。

(6) 募集広報

「学生募集は適切に行われているか」において「改善すべきところがある」として、「中学校への出前授業等知ってもらう機会を増やしていただけると目指してくださる学生さんが多くなるのではと期待できます」と意見をいただいた。

「入学選考は適切に行われているか。」において「わからない」という意見をいただいた。

その他、自由意見として「テレビCMやSNSなどの瞬間的なものよりもポスターやイベントでの紹介など時間をかけて知ることができる機会を増やし、職種の強みや面白さなどを伝えていただいた方が良いのではないかと思います。多くのイベントに学生さんに参加してもらい直接伝えていただくと、受験生に届きやすい気がします」と意見をいただいた。

(7) 学校評価

「自己評価・自己点検は適切に実施されているか」の項目に対し、「適切になされている」との評価をいただいた。

(8) 情報公開

「必要な情報の適時、提供できているか」の項目に対し「わからない」との評価をいただいた。

(9) 別紙「2022年度学校関係者評価アンケート結果」

7 総括

- (1) 実施事項・内容及びその要領等を含め評価の取組については、全ての評価委員から高い評価をいただいた。本校としても、学生教育をはじめとする学校運営全般について、学校関係者への説明責任を果たすとともに、これら関係者のご理解とご協力を得る貴重な機会となったことは大変有意義であった。
- (2) 評価項目の殆どに肯定的な評価をいただいたが、【教育活動】の「個々の学生に応じた教育・指導について」成績下位の学生に対する個別指導や、メンタルケアが必要な学生に対するスクールカウンセラーも活用した早期の対応について、中途退学の抑止となるような改善が必要である。
- (3) 経済的な理由により退学・除籍となる学生が出ないよう、高等教育修学支援新制度の高校在学中の周知、社会人向けの経済的な修学支援について、入学金の免除や専門実践教育訓練給付制度など、各種公的支援の周知が不足している。
- (4) 次年度の学校関係者評価においては、今回の実施内容・要領を踏まえ、学校の現況や新たな取り組みについてより理解を深めて頂くとともに、幅広く貴重な意見等を頂けるよう、引き続き改善を図っていく。